

全体配置計画（案）について

※ 下記の考え方を基にA～D案の4つの全体配置計画（案）を作成した

- 計画地 小美玉市上玉里 751 番地 1（現玉里中学校敷地）
- 敷地面積 30,121 m²
- 計画学級数 普通学級 18 特別支援学級 6

○ 基本構想による全体配置計画の基本的な事項

- グラウンドや体育館での集会や体育の授業等の移動時間に配慮し、同一敷地内で移動ができるよう校舎を配置。
- 玉里中学校の体育館は、比較的新しいため、体育の授業、式典等に利用。
- 低学年児童の体育の授業は、新たに小規模体育館を建築。
また、玉里小学校の体育館は、部活動など課外活動の利用。
- 学習環境に影響が出ないように、仮設校舎を極力使用しない計画。
- 教育活動、運動、安全等に留意した必要十分な大きさの校舎等を配置。
- 来客用の必要台数を備えた駐車スペースを配置。
- 児童生徒が十分に運動できるグラウンド（200mトラック程度）を配置。
- 安全性に配慮した登下校動線を計画。
- 児童生徒の利用に的確な距離となる校内動線を計画。

○ 本配置案を計画する上で新たに考慮した事項

- 児童クラブ（150 m²程度）を同一敷地内に計画。
- 送迎等を想定し、ロータリーを計画。
- 敷地の出入口については、横断歩道の利用を考慮した配置。
- 十分なグラウンド面積及び敷地内の良好な視認性を確保するために、部活動利用のみである野球場・テニスコートは、現玉里小学校敷地へ新たに設置。

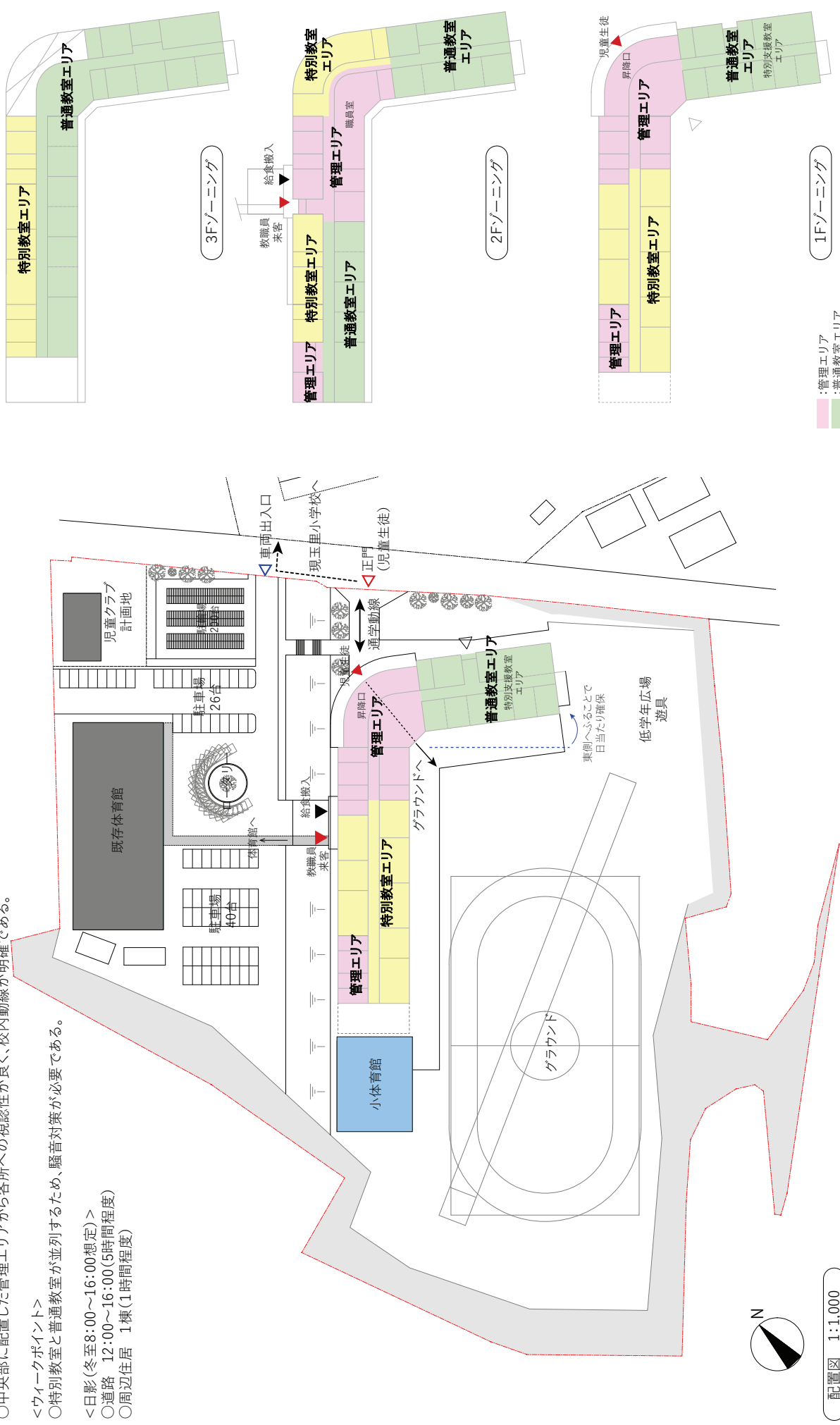
配置計画

- 1Fに昇降口、2Fに教職員・来客用玄関や給食室を配置することで、既存の高低差を活かした歩車分離と動線の円滑化を図った配置計画。
- 建物の道路に近接する部分を東側にぶらさず、午前中の教室の日当たりを確保できる。
- 中央部に配置した管理エリアから各所への視認性が良く、校内動線が明確である。

<ウィークポイント>

- 特別教室と普通教室が並列するため、騒音対策が必要である。

- <日影(冬至8:00~16:00想定)>
- 道路 12:00~16:00(5時間程度)
- 周辺住居 1棟(1時間程度)



配置図 1:1,000

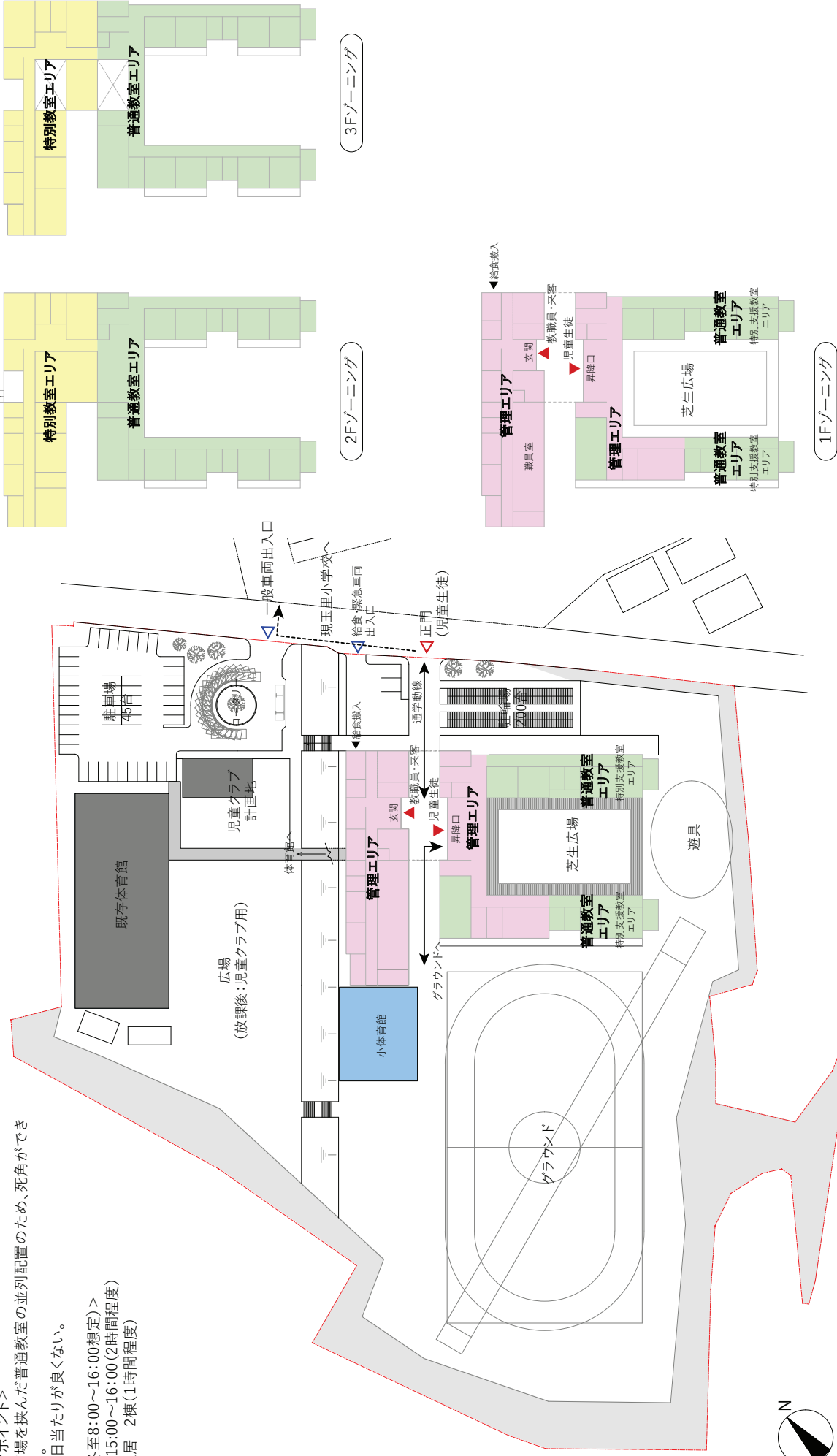
- 管理エリア
- 普通教室エリア
- 特別教室エリア

配置構成

- 通学やグラウンドへの動線に配慮し、正門からグラウンドへ一直線上に抜けられる配置計画。
- 管理エリアを敷地中央部に配置することで、円滑な管理動線確保できる。

- <ウィークポイント>
- 芝生広場を挟んだ普通教室の並列配置のため、死角ができてやすい。
 - 1Fの日常当たりが良くない。

- <日影(冬至8:00~16:00想定)>
- 道路 15:00~16:00(2時間程度)
 - 周辺住居 2棟(1時間程度)



- 管理エリア
- 普通教室エリア
- 特別教室エリア

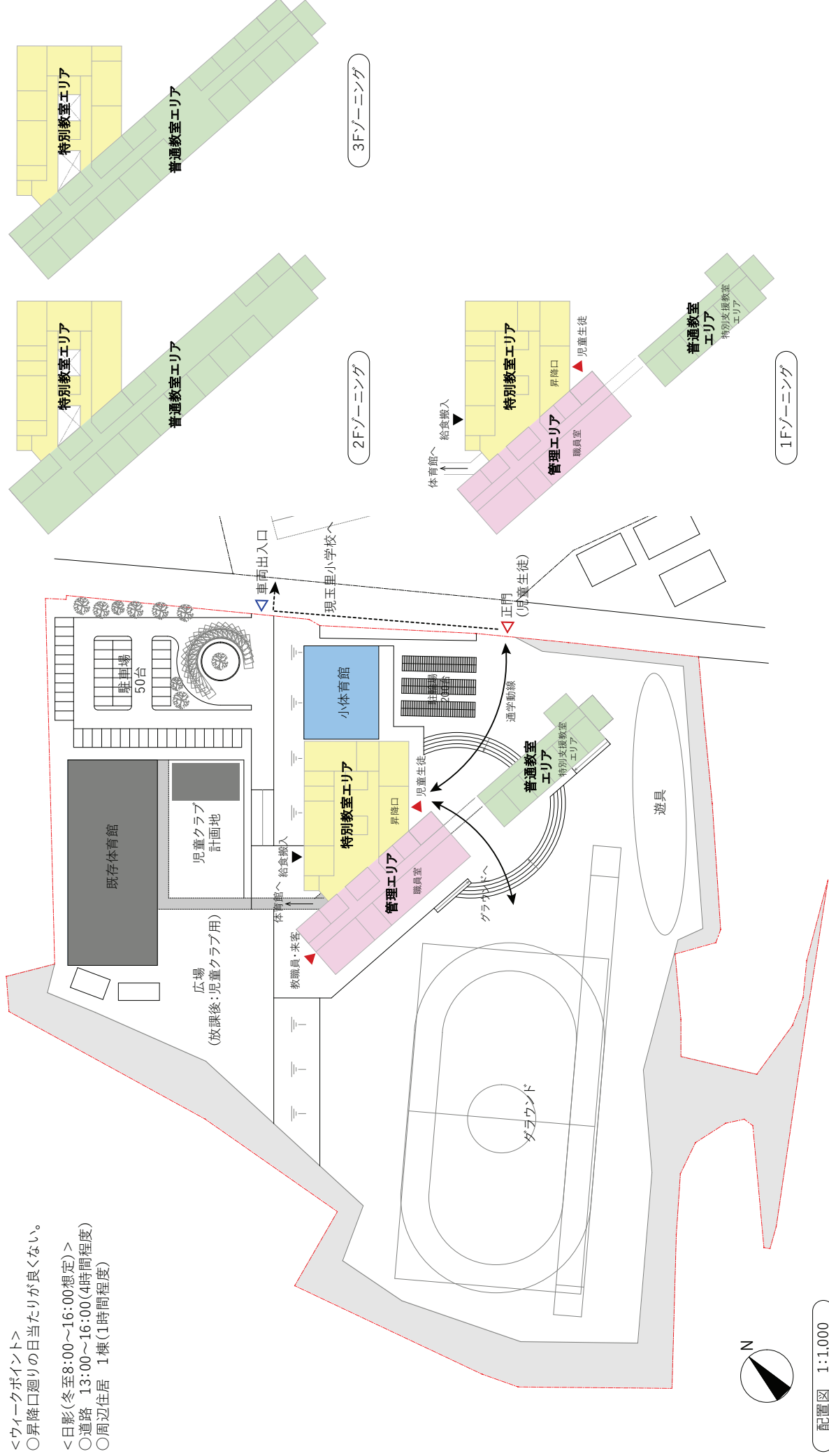
配置図 1:1,000

配置計画

- 道路とグラウンドがフラットになる位置に正門を配置し、普通教室を南面させた配置計画。
- 普通教室と特別教室のエリア分けが明確でわかりやすい。
- 管理エリアから各所への校内動線が良い。

<ウィークポイント>

- 昇降口廻りの日当たりが良くない。
- <日影(冬至8:00~16:00想定)>
- 道路 13:00~16:00(4時間程度)
- 周辺住居 1棟(1時間程度)



配置図 1:1,000

